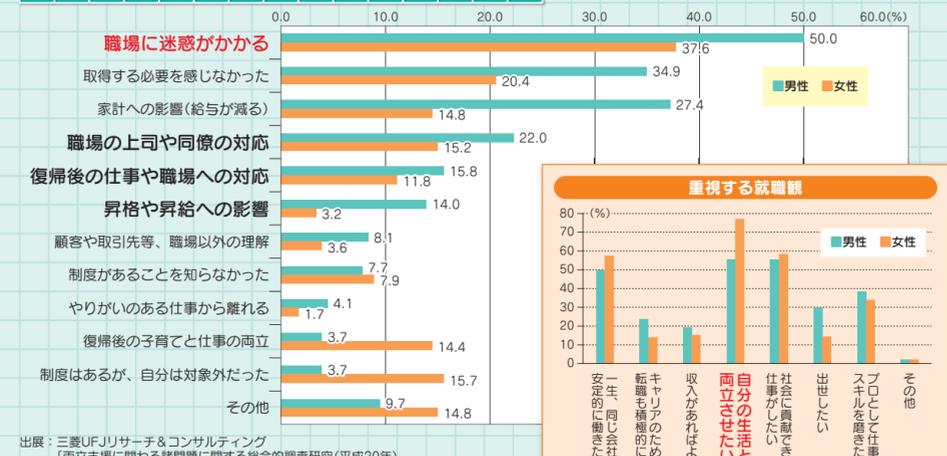


始めよう、育メン休暇！

なぜ男性は育児休業を取得しないのでしょうか。その理由の一番として「職場に迷惑がかかる」が挙げられています。その他にも「職場の上司や同僚の対応」「復帰後の仕事や職場への対応」「昇格や昇給への影響」などの理由もあります。一方、大学生を対象とした調査では、就職職として重視する項目に「生活と仕事の両立」が挙げられており、育児や家事など家庭を大切にしたいという価値観が高まっています。

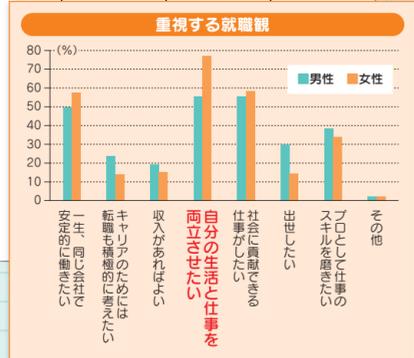
育メン休暇を取得しなかった理由



出展：三菱UFJリサーチ&コンサルティング「両立支援に関わる諸問題に関する総合的調査研究(平成20年)」

育メン休暇取得者のいる会社の取り組みなどがご覧いただけます。

広島県 インターネットチャンネル [検索](#)



出展：2011年2月21日毎日日本経済新聞

平成24年度版

みんなで増やそう「広島育メン」！



みんなで増やそう「広島イクメン」

育メン休暇推進のすすめ

広島県は「いきいきパパの育休奨励金制度」で育メン休暇を応援します。



育メン休暇が増えれば、会社が変わる！社会が変わる！



企業経営にプラスの効果も！

平成24年度版

男性ももっと育児休業を！



みんなで増やそう「広島イクメン」

育メン休暇取得のすすめ

広島県は「いきいきパパの育休奨励金制度」で育メン休暇を応援します。



育休はママだけのものじゃない。さあ、立ち上がれ育メンパパ！

いま、育メン休暇が求められている！

県内の男性の育児休業取得率が、平成22年度調査の1.2%に比べ、平成23年度調査では4.6%に上昇しました。しかし、女性に比べるとまだまだ低い取得率。広島県では、男性の育児休業等を「育メン休暇」と名づけ、取得を応援しています。

調査公表年度	平成22年度	平成23年度
広島県	1.2%	4.6%
全国	1.72%	1.38%

(出展：広島県 職場環境実態調査、全国 雇用均等基本調査)

少子化対策・女性労働力の確保

厚生労働省の調査によると、パパの家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高く、また第1子出産後のママの就業継続割合が高いという結果がでています。男女がともに子育てをしながら働き続けることができる職場環境が必要であり、そのために男性の育児休業が期待されています。

児童虐待防止として

核家族化が進むなかで、ママの孤独感や不安感が要因と思われる児童虐待が多発しています。一方、調査会社が行った調査では、パパの育児休業取得率向上は児童虐待防止に繋がると思うかという問いに対し、5割の人がそう思うと回答しています。

家族の絆を深める

離婚率が上昇するなど家族のあり方が問われています。パパがちゃんと家族と向き合い、育児を積極的に行うことで、家族の絆は深まるはず。子どもは次の世代を担う宝です。社会全体で男性も育児休業を取れるような環境を目指しましょう。

2010年10月に第3子が誕生し、育児のための休暇を取得しました。



このことにより、男性の育児への参画や育児休業の取得について、賛否両論さまざまな意見が報道され、社会的な関心が高まりました。男性の育児休業は、職場への迷惑や出世への影響を心配して、言い出せない人が多いのが実情です。

育児は今まで、社会的な重要度が低いと思われていたため、男性は、育児に対する役割分担意識が希薄であったり、育児休業を取得することに対する根強い抵抗感があるのです。

しかし、子育てを軽く考えたり、引け目を感じるような社会で、出生率が上がるわけがありません。少子化対策を進めるためにも、虐待を防止するうえでも、育児の重要度を高め、男性も積極的に育児を行うよう、社会の価値観を変えていくことが必要です。

女性だけでなく、男性も育児休業を取得するし、早く帰宅する日もあれば、子どもが病気の時は面倒も見る。そういう多様性を認めることが大切です。核家族化が進む今、母親とともに育児を行う最も身近な存在は、父親です。

広島県知事 湯崎 英彦

育メン休暇は、こんなに

パパにとってのメリット

1. 子どもの成長をすぐそばで見守ることができ、親子の良い関係が築かれるベースになる。
2. ママが一人で育児の不安やストレスを抱え込むことがなくなり、夫婦関係ももっと良くなる。
3. 子育てを通じて、自分の住む地域に友だちやネットワークができる。
4. 計算どおりにいかない子育ての経験を通じて、状況判断力、瞬発力、危機管理能力、柔軟性などが向上する。
5. 子育てを通じて視野や活動範囲が広がり、仕事上での新たなアイデアや企画力が磨かれる。

自分自身も成長できる！



メリットがいっぱい！

企業にとってのメリット

1. 時間意識が高まり、仕事の生産性が向上する。
2. 情報の共有化や仕事の可視化などに気を配るようになり、急な欠員時のリスク対策になる。
3. 職場のメンバー同士のチームワーク、相互支援に対する意識が高まる。
4. 愛社精神が醸成されるとともに、優秀な社員の定着・確保につながる。
5. 企業のイメージアップにつながるだけでなく、広島県からの奨励金が受けられる。*奨励金については詳しくは中面をご覧ください。

もっと詳しく知っておこう！



お問い合わせ

広島県商工労働局 産業人材課 女性人材グループ
〒730-8511 広島市中区基町10-52
Tel : 082-513-3419 / Fax : 082-222-5521



お問い合わせ

広島県商工労働局 産業人材課 女性人材グループ
〒730-8511 広島市中区基町10-52
Tel : 082-513-3419 / Fax : 082-222-5521

育メン休暇について、